

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題



心に染みました ～発達障がい講演会～

5月25日、大島文化センターにおいて、大島郡医師会主催による講演会が開催され、シンガー・ソングライターのうすいまささんと、「きみの心をさがして」自閉症児直人が教えてくれた大切なこと」と題して講演が行われました。うすいさんは、3人の発達障がいを持つお子さんと共に暮らされ、子どもたちと過ごす日々の中で生まれた歌やエピソードは、とてもわかりやすく、たくさんの人の心に染みしました。講演でうすいさんは、「目が悪いと眼鏡をかけるように、発達障がいの子どもたちには、人のこころ」が必要。」「毎日子どもに関わってくれている母親がハッピーでいることが大切。」「どんな子どもにも必ず可能性があり、信じた分、関わった分、確実に成長していきます。」と発達障がいを理解して、寄り添う気持ちの大切さを話されました。



▶ 講演会でうすいさんは、「脳の歌」「ママへ」など5曲を熱唱されました。

ヒラメを放流しました

5月21日、明新小学校5年生21名が小松港において、ヒラメの稚魚を放流しました。児童は大島町漁協から手渡された、約千匹を「大きくなつてね。」と願いを込めながら放流しました。今回放流したヒラメの稚魚は約6センチで2、3年で約30センチ以上に育ちます。



▲ヒラメの稚魚を放流する児童

▶ 基本プレールの重要さを教える酒井選手



トップ選手から教わりました

5月24日、町総合体育館において、バレーボール・プレミアリーグ男子JTサンダーズの酒井大祐選手、深津旭弘選手、小澤翔選手によるバレー教室が開催されました。教室は大島郡バレーボール協会の主催で開催され、小学生から大人まで約80名が参加しました。酒井選手は「アンダーパスやオーバーパスなどの基本プレールをしっかり練習してほしい。」と基本プレールの重要さを教えました。